

1

歴史

王は君臨すれども統治せず

学習の目標： 議会政治の始まりがどのように起こったのか考えよう。

◆エリザベス1世の肖像画をみた印象 <考えてみよう>

コメントの追加 [S1]: Q エリザベス1世の肖像画を見た印象を書いてみよう。

S: 怖そう、お金持ち、威張っている

Q 地球儀のどこを指さしている？

A アメリカ大陸だね。

イギリスがスペインに変わり、海外進出を考えていることを捉えさせる。

◎絶対王政の成立

16世紀~17世紀のイギリス

[] : []



【② 革命】：絶対王政を否定。
【③ 】の指導のもと革命を起こす。

[] : []

政権を握ったのはクロムウェル ▶ 【④ 】で不満を持たれる。
【⑤ 】：議会が無血で国王を追放。新たな国王を迎える。

[] : 【⑥ 】の確立「王は君臨すれども統治せず」

【⑦ 】を制定

◆権利章典を読んで王政との違いを読み取ろう

絶対王政と立憲君主制の違いは何だろう？

権利の章典

- ① 国王は議会の承認なしに、法律を停止することはできない。
- ④ 国王は議会の承認なしに、課税できない。
- ⑨ 議会における言論の自由は守らなければならない。
- ⑬ 議会はしばしば開くべきであ

コメントの追加 [S2]: Q 絶対王政って何だろう？

A 国王が強い権力をふるう政治

この頃のイギリスでは、国王が絶対的な権力を持つ。

Q ピューリタンとは何の意味を持っているかな？

▶ ピューリタン（清教徒）を中心とした革命
国王チャールズ1世を処刑して共和制を樹立。

Q 共和制とはどんな政治かな？

A 君主を持たない政体、君主制ではない政治体制。

▶ その後王政が復活したが、信頼回復はされず、王政を貫こうとしたので名誉革命が起こる。

コメントの追加 [S3]: Q 権利章典と絶対王政の違いを考えてみよう！

どんな点が異なっているかな？

A 議会の権限を尊重している点

国民の生命・選挙言論の自由などは議会の承認なしに制定改廃することができない。

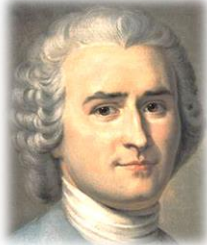
民主政治の基礎が次第に形成されるようになってきた。

◎啓蒙思想



A

(イギリス)



B

(⑧)



C

(フランス)



⑨



⑩



⑪

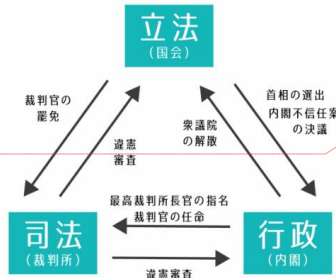
コメントの追加 [S4]: Q18 世紀に生まれた啓蒙思想とはどんなものだろうか？
資料集を使って埋めてみよう。

- A ロック・・・市民政府二論
- B ルソー・・・社会契約論
- C モンテスキュー・・・法の精神
- ⑧ フランス

Q モンテスキューは法の精神の中で三権分立を唱えたんだけど、どんなのか分かる？
A 一つの所に権力が集中しないように、三つに権力を分散させること。

◆ 2つの革命でイギリスの政治がどのよう
に変わったか説明しよう！〈考えてみよう〉

※イギリスの国王と議会の関係に注目してみよう。



コメントの追加 [S5]: Q 今日のもとめとして、次の◆を自分の言葉で説明してみよう。

A 革命の前は、絶対王政であったため議会を抑えながら専制政治を行っていて、議会で激しく対立していた。

革命の後は、国王が議会の承認なしに法律を作れないほど、お互いを尊重する用になり「王は君臨すれども統治せず」と言われた。

